

## お父さんとふれあいデー（意図的な環境） 西尾市立鶴城幼稚園（愛知県西尾市）

子育てには父親の力が必要であることを前提に、保育の中に父親・祖父を巻き込もうと年間5回（登園から午前10時30分まで）『お父さんとふれあいデー』を計画し、実施した。

### ＜昨年度の『お父さんとふれあいデー』の活動内容＞

月 日	ね ら い	遊 び の 内 容
6月27日	子...お父さんと一緒になって遊ぶ。 父...園での子どもの様子を知る。	保育室のコーナー、砂遊び、サッカー、うずまきじゃんけん、鬼ごっこ、竹馬
7月11日	子...友達のお父さんを知り親しんで遊ぶ。 父親のダイナミックな遊びに興味をもつ。 父...他の幼児とかかわりながらいろいろな子どもの姿を知る。	雨天のため室内遊び、積み木、粘土、ブロック、とび箱、折り紙、トランプマット、トランポリン
9月30日 <b>事例</b>	3歳児...お父さんの力を借りていもほりを楽しむ。 4歳児...お父さんとかかわって草花摘みや虫捕りに出かけ、自然に親しむ。 5歳児...お父さんと力の競い合いを楽しむ。 父...子どもと共に遊ぶことで視線を子どもに合わせて、同じ思いを感じるようにする。	さつまいもほり（園の畑） 花摘みと虫捕り （園隣にある草むら） タイヤ引きと綱引き
11月14日	お父さんと一緒になってやきいもの作り方を知り、焼けるまでの雰囲気に入りながら焼き上がった喜びを共に味わう。	やきいも会
2月20日	子...お父さんと遊びのイメージをふくらませて、一緒になって遊ぶことを楽しむ。 父...子どもの思いを受け止め、いろいろな子とかかわることでより一層幼児理解を深める。	＜雨天のため室内遊び＞ こま回し、野球ごっこ、とび箱トランポリン、オセロ、カルタ ゲーム遊び、お店屋さんごっこ

### 事例1 『お父さんとふれあいデー』3回目

#### 3歳児...さつまいもほり

自分の子どもだけでなく近くの子にも一緒にかかわっていた。大きないもが出てくると「おっ、Cちゃんの顔よりでかいな」とか、バツを捕まえると「これは今夜のおかずだな」と冗談が言えるようになっていた。子どもの方は手伝ってもらって嬉しい子と「自分でやるからいい」ときっぱり断り必死に掘っている子どもの姿があった。掘り終えて収穫したたくさんのいもを見て、父親も子どもも満足していた。



#### 4歳児...草花摘み、虫捕り

園隣の草むらに出かけた。父親1人に4人くらいの子どもが寄り添い、「あっちへ行こう」と誘ったり、「虫見つけてよ」と遠慮なく要求したりしていた。「子どもの頃、よくやったな」「なつかしいな」と、自分たちの子どもの頃の話を楽しそうにする父親同士の会話に、子どもたちも興味をもって聞いていた。バツ、こおろぎ、カエル、イナゴを素手で捕まえるお父さんに拍手が湧く一場面もあった。



#### 5歳児...綱引き

子どもたちだけの綱引きの後、子ども対父親で行った。参加されたお父さんは数人だったが、全く予想のつかない力比べなので、様子を見ながら少しずつ人数調整をした。数人ずつ子どもを追加していく度に「今度は絶対勝つぞ」と意気盛んになる。

そして、綱引きが始まると子どもたちの目が集中し、応援するのは専ら友だちの方で父親を応援する子は一人もなく、力尽きて父親が負けたときには子どもたちの大歓声があがり、とても誇らしげであった。

#### 事例より

- ・どの学年も一斉活動だったので、父親は安心して過ごせたようである。
- ・子どもたちと共に行動し、同じ思いになって感動したことで一体感ができ、心が通じ合える関係になってきたようである。

始めは力を抜いていたが、子ども達の真剣さに圧倒され、つい真剣になってしまった。非常に疲れた。でも、すごく楽しかった。（綱引きに参加した父親の言葉）

### みどころ

この事例のふれあいは、父親か祖父であれば誰でも参加できる企画です。また、具体的な活動がはっきりしています。3歳児が「いもほり」をする場面でお父さん方の姿は「頼れるモデル」であり、参加されている父親にとっては、子どもたちと収穫の喜びを共感できる貴重な経験になったと思います。同様に、4歳児の虫捕りの活動や5歳児の綱引きの活動は、それぞれの年齢の興味や欲求など実態に応じた活動です。子どもたちは、体験を通して自分ができていると感じ、父親の様子に関心や親しみをもってかかわっています。父親の姿をモデルにしてより意欲的に活動することで、「科学する心」が育まれていくことが期待できます。